



さいとぴあ環境大学

SAITOPIA ENVIRONMENTAL UNIVERSITY

「環境問題の今を学ぶ」

現在環境問題は、身近なものから世界規模のものまで多岐にわたります。「さいとぴあ環境大学」では、生活の中でアクションをおこせる環境問題を取り上げます。

時間 | 13:30~15:00

会場 | 1階 第2会議室

定員 | 30名(先着順)

料金 | 無料



「レジ袋削減」について
 テーマ
 日程 **6月5日(水)**
 講師 **矢野 さとみ**
 (エフコープ生活協同組合)



「ごみ処理法」について
 テーマ
 日程 **6月19日(水)**
 講師 **田代 武夫**
 (ふくおか環境財団)



「食品ロス」について
 テーマ
 日程 **6月26日(水)**
 講師 **雪田 千春**
 (フードバンク福岡)



「環境保全」について
 テーマ
 日程 **7月3日(水)**
 講師 **清野 聡子**
 (九州大学大学院 工学研究院)

特典

受講生のみなさまには、「オリジナルエコバック」を進呈します！

お申込み方法

事前申し込みが必要です。

※裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、持参、もしくはファックスにてお申し込みください。

お問い合わせ

☎092-807-8900(さいとぴあ管理事務所)



さいとぴあ環境大学では、「持続可能な地域をみんなで創ること」をテーマに、環境分野を専門とする NPO 法人等の協力を得て、環境活動の促進につながるセミナー・講座を開設します。

今回取り上げる環境問題は、「レジ袋削減」「ごみ問題」「食品ロス」「環境保全」の4つ。

1日1限1問題、専門家を招いてゆっくりと話を聞きながら環境問題をいろいろな角度から学ぶことができ、これからの活動や生活にきっと役に立つ授業となります。また、受講された方には、「さいとぴあ オリジナルエコバック」を進呈します。

さいとぴあ環境大学 カリキュラム内容詳細

1 限目

あなたの意識が地域を変える ～小さなバッグで大きなエコ～

講師 | 矢野さとみ(エフコープ生活協同組合)



私たちは、福岡市西区の自治会5校区(城原、西陵、下山門、壹岐、石丸)と、地域のスーパー 4店舗(サニー下山門店、サニー福重店、マルキョウ下山門店、エフコープ上山門店)、それに行政である西区役所生活環境課の3者でチーム会を立ち上げ、平成20年から「レジ袋削減」のためにマイバッグを持参する取り組みを始めました。なぜレジ袋を減らす必要があるのか、なぜこの活動が継続して10年以上続いているのか…。活動の必要性和私たちの暮らしの中でできることをお話します。また、地域で行われている具体的な取り組みもご紹介します。

2 限目

ごみ処理法 福岡方式について ～世界で認められた福岡方式

講師 | 田代武夫(ふくおか環境財団)



「福岡方式」は、1970年代に福岡大学と福岡市が共同で開発したごみの埋立方式で、現在日本の標準的な埋立方式として国から認定されている技術です。基本的な構造は、埋立地の底部に穴の開いた管を設置し、浸出水(ごみから出る水分)を排出すると同時に、埋立地の内部に新鮮な空気を取り込むことで、ごみの分解を促進する効果があります。空気の流入は、ごみ自体の分解により発生する発酵熱を利用し、外部からのエネルギーを必要とせず、構造も簡単で比較的安価に導入できることや、メタンガスの発生を抑え、地球温暖化抑制効果が高いことから、海外からも高く評価され、既に多くの国で導入が進んでいます。

3 限目

食品ロスについて 具体的な取り組みとその有効性について

講師 | 雪田千春(フードバンク福岡)



世界規模で、食品ロスが大きな社会問題となっています。平成28年度推計では、未使用・可食部の食品ロスは約643万トンと予想され、福岡市でも7.7万トンの食品ロスがあると予想されています。その一方で、6人に1人の子どもが相対的貧困の状態にあり、特にひとり親世帯の約6割が貧困の状態にあります。フードバンクは、地元で発生した食品ロスに対して小回りの利く抑止効果と、食品を必要とする施設団体に無料で配布することによって福祉的な効果があると期待されている活動です。今回は、子ども食堂での取り扱いの状況もからめながら、フードバンク活動の具体的な取り組み内容やその有効性についてお話します。

4 限目

環境保全について 環境のために私達ができること

講師 | 清野聡子(九州大学大学院 工学研究院)



「福岡の海の環境のために私達ができること」
福岡の海の環境の現状や先端研究でわかってきたことをご紹介します。

- ・世界的にも絶滅危惧種になってしまったカブトガニの危機的状況
- ・漂着PETボトルからわかる博多湾の海ゴミの移動
- ・水に溶けているDNA(環境DNA)で博多湾の魚類を解明

いずれからでも、人間の暮らしが海の生き物に影響していることがわかります。今後、私達が何をしたらよいかを考えていきます。

お申し込み用紙

以下の項目をご記入の上、さいとぴあに直接持参していただくか、メールまたはファックスにてお申し込みください。(6/3まで)

ふりがな		住所	
氏名	(姓) (名)		
電話番号		メール	
FAX			
希望日	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 1限目 <input type="checkbox"/> 2限目 <input type="checkbox"/> 3限目 <input type="checkbox"/> 4限目 (※複数選択可)		

※定員に達し次第、受付終了になります。ご希望に沿えない場合もございます。予めご了承下さい。